

## 「浮沈子」をつくろう ― 作り方① 基本編―

### <用意するもの>

ペットボトル、タレビン、ねじ（タレビンの口に合った大きさのもの）

### <作り方>

- (1) タレビンの口にネジをねじ込んで浮沈子をつくる。(図1)
- (2) 浮沈子をコップなどに入れた水の中に入れ、側面を指でつまんで、浮沈子の中に水を入れる。(図2)手を離したときに、浮沈子が水に浮くように、水量を調節する。いったん水に沈むまで中に水を入れ、中の水を少しずつ減らしながら、浮き上がるようにするとよい。
- (3) 浮沈子に色をぬったり、マジックで絵を描こう。
- (4) ペットボトルに水を満たし、その中に浮沈子を入れて、キャップをしっかりとしめる。
- (5) ペットボトルの側面を持ち、力を加えてにぎると浮沈子が沈み、力をゆるめると浮沈子は浮かんでくる。(図3)このとき思い切りにぎっても浮沈子が沈まないときは、(2)に戻って浮沈子の中の水量を調節しなおす。

(図1)



(図2)



(図3)



基本の浮沈子がつくれたら、次はいろいろ工夫して楽しい浮沈子をつくってみよう。次のページに、応用編として「浮沈子魚つりゲーム」の作り方を紹介しましょう。

### <参考文献>

「キッチンから生まれた プラスチックの宝物」(当銀美奈子著、日本ヴォーグ社)  
→ とっても素敵な本です。現在 amazon で Kindle 版が入手できます。

## 「浮沈子」をつくろう ― 作り方② 応用編―

### ～ 浮沈子で魚釣りゲームをつくる！ ～

#### <用意するもの> (図1)

ペットボトル、タレビン（魚形、ボトル形）、ゼムクリップ、細い針金  
ねじ（タレビンの口に合った大きさのもの）、押しピン

#### <作り方>

- (1) 魚形のタレビンの口にネジをねじ込む。タレビンのしっぽの部分に押しピンで穴を開け、細い針金を通して輪っかをつくる。色をぬって魚の浮沈子Aが完成。(図3)
- (2) ボトル形のタレビンの口の部分に、ゼムクリップを曲げて伸ばした端を巻きつける。ゼムクリップのもう一方の端は、つり針のように曲げておく。(図2)
- (3) (2)のタレビンにキャップをつけ、キャップに穴を空けてネジをねじ込んで、つり針の浮沈子Bをつくる。(図3)
- (4) コップに入れた水の中に浮沈子を入れて、浮沈子の中に水を入れる。このとき、魚の浮沈子Aは水に沈むように、つり針の浮沈子Bは水に浮くように調整する。
- (5) ペットボトルに水を満たし、中に浮沈子Aを沈め、浮沈子Bを入れてキャップをしっかりしめる。(図4)
- (6) ペットボトルの側面を強くにぎったり緩めたりして、つり針の浮沈子Bを上下させ、Bにつけたクリップに魚の浮沈子Aの輪をひっかけて引き上げれば成功！(図5)

(図1)



(図2)



(図4)



(図5)



(図3)

